

◎オプション検査項目

(R7年4月からの料金です)

血液検査		名称	料金(税込)	内容
肝炎ウイルス検査		HBs抗原 HCV抗体	2,300	B型およびC型ウイルス肝炎の感染の有無を調べます。 肝機能に異常のある方は、一度はチェックしておくべき検査です。
甲状腺機能		FT4, TSH	2,820	甲状腺ホルモンと甲状腺刺激ホルモンを調べます。
心機能		BNP	1,550	心不全などで上昇し、心機能や心筋障害の指標となります。
腫瘍マーカー	前立腺がん	PSA	1,550	前立腺がんが増加しますが、前立腺肥大でもある程度増加します。
	膵臓がん	CA19-9	1,470	主に膵臓、胆嚢、胆管など消化器系のがんで高値を示しますが、胆汁うっ滞、糖尿病、気管支拡張症、肺がんなどでも高値を示す場合があります。
	肝臓がん	AFP	1,210	肝細胞がんが高値を示します。急性肝炎の初期にも高値を示します。
	消化器系がん	CEA	1,530	がんが進行すると高値を示すことがありますが、血糖値や喫煙の影響も受けます。
関節リウマチの検査		抗CCP抗体 MMP-3	3,920	関節リウマチに特異性の高い抗CCP抗体と滑膜炎で上昇するMMP-3を調べます。中年の女性の方におすすめです。
ペプシノゲン ヘリコバクター・ピロリ抗体		ABC分類	2,200	ヘリコバクター・ピロリ菌の持続感染は、萎縮性胃炎、胃潰瘍、そして胃がんを引き起こすといわれています。萎縮性胃炎は胃がんの発生母地であり、ペプシノゲンの血中濃度が低いと胃がんが発生しやすくなります。ヘリコバクター・ピロリ抗体とペプシノゲンの両者を調べ、胃がんのリスクを評価します。今までにヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療をされたことがない方にお勧めの検査です。 ※胃内視鏡検査を受けないと、ヘリコバクター・ピロリ抗体が陽性でも、除菌治療に保険が適用されません。
アレルギー検査		特異的IgE (View-39)	15,730	植物・動物・食物など、39種類のアレルゲン(アレルギーの原因物質)を調べることができます。

便検査		名称	料金(税込)	内容
便中ヘリコバクター・ピロリ抗原		—	2,200	過去に除菌治療をされたことがあり、その後のピロリ菌の有無を知りたい方にお勧めです。 ※便中抗原測定では、便の中のピロリ菌の有無を調べます。免疫の低下がある方でも受けていただけます。 ※胃内視鏡検査を受けないと、便中ヘリコバクター・ピロリ抗原が陽性でも、除菌治療に保険が適用されません。

画像診断		名称	料金(税込)	内容
頸動脈超音波(頸動脈エコー)		—	2,200	超音波で頸動脈を観察し、動脈硬化によって厚くなった血管壁やこびりついたプラーク(コレステロールや線維など)、血栓などを確認することができます。
血圧脈波		ABI, CAVI	1,650	血管を流れる血流の速さや四肢の血圧を測り、血管の硬さ(CAVI)と詰まり具合(ABI)で動脈硬化の程度、血管年齢を調べます。
骨粗鬆症		DXA法	1,550	X線を使って骨密度(骨の強度)を測定し、同年代の健常人の平均値と比較します。
脳MRI/MRA		MRI/MRA	17,630	脳梗塞・脳腫瘍・脳動脈瘤の発見を目的としています。 MRAでは、脳動脈の主要部分を撮影します。
内臓脂肪CT検査		—	4,080	CTにより内臓脂肪量を計測します。 メタボリックシンドロームが気になる方にお勧めします。 ※臓器の診断はできません
腹部CT検査 (内臓脂肪CT検査を含む)		—	9,500	CTによる内臓脂肪量の判定に加え、肝臓・膵臓・腎臓など腹腔内臓器の病変を診断します。超音波検査と併用することにより、がんの発見に有用です。 放射線科専門医による読影を受けることができます。
低線量肺がんCT検査		—	9,500	胸部全体の断層像から肺の病変を調べます。胸部X線では指摘困難な淡い病変も、CTでは描出可能で肺がんの早期発見に有用です。喫煙者や痰・咳などの症状がある方にお勧めします。放射線科専門医による読影を受けることができます。

※お申し込みは、ご希望日から1ヵ月前までをお願いします。

※病気で治療中の方は、主治医の先生と相談してから受診を検討してください。

◎申込方法・・・「人間ドック申込書」に必要事項を記入の上、受付窓口にお出してください。

